

進路だより

箕輪進修高校 進路指導室

2010.10.12

No. 49



二次募希望者はテキパキとした反応を!

就職希望者で一次試験で失敗した人の数が増えてきています。しかも二次募集の企業数もあまり出てきません。経済状況の先行きは見通しが決して明るくなく、年末から年明けに向けさらに景気は悪化する可能性もあります。もしそうなれば二次募集の企業は益々少なくなるでしょう。

その意味では一次試験がうまくいかなかった人の就職の見通しは大変厳しくなるでしょう。現在わずかではありますが数社からの求人が来ています。しかも本校だけに求人を出していただいているところもあるにもかかわらず、中々希望者が出てきません。

皆さんはもっと良いものが後から出てくると思っているのでしょうか。今年は地元の比較的大手の企業はほとんど一次で応募があり、これからは皆さんが期待するような大きな企業は出て来ない可能性の方が高いと思います。現在上伊那地区で一次試験がうまくいかなかった生徒はおよそ50人以上います。最終的には60人を超えるでしょう。これからこの数の生徒をまかなえるだけの求人がどれだけあるのか不安です。しかも、後へ行けば行くほど求人はなくなる可能性が高く、卒業時に職の決まらない生徒が何人か出る可能性もあります。先週金曜日に5社の企業を回り求人をお願いしに行きましたが成果はゼロでした。少ない求人に対して、選り好みをしている余裕のないことをもっと自覚して欲しいものです。しかも早め早めに対応していかないと他校の生徒にとられてしまいます。迷っている場合は見学だけしてみるということも可能です。

また見学して、行きたいと思ったら、出来るだけ早く履歴書を書いてください。試験日は希望者が出次第各企業は実施していきますので、ぐずぐずしているとどんどん他校生に先を越されてしまいます。皆さんの意思表示がないと係は動けません。

3月卒業時に職が確保できないという事態を一人でも多く回避するためにも、それぞれ早めの対応を心がけましょう。

平成23年3月新規高等学校卒業者の求人状況
H22年8月末現在

	北信	東信	中信	南信	平均
求人倍率	0.93	0.64	0.46	0.76	0.71

長野労働局発表

秋の夜長に人生の肥やしを!

すでに進路が決まった人が何人か出ていますが、そうした人は特に時間をもてあましてはいるのではなく、是非これから進む分野に関する勉強や、資格試験等にチャレンジしたり、これからの自分の生き方に示唆を与えてくれるような本を読む等自分の時間の使い方を考えて欲しいものです。年を重ねると若いときにもっと勉強をしておけば良かったと思うことがあります。それは学校の勉強を指すだけではありません。

若いときに十分肥やしを施した農作物は、実りの秋になり十分な収穫を得ることが出来ます。私達の人生も同様です。若いときに多くの肥やしを自分に施した人は、その先の人生も豊になるでしょう。卒業まであと半年を切りました。これからの秋の夜長の時間を如何に有効に過ごすかそれはあなたの気持ち次第です。

